



一般社団法人 徳島ニュービジネス協議会
〒770-0911 徳島市東船場町2-21-2 阿波銀住友生命ビル3F
TEL 088-654-5411 FAX 088-654-5510

事業報告書

IMPLEMENTATION REPORT

TNBC 20周年記念

第12回JNB新事業創出
全国フォーラム in 徳島

2016年11月25日(金)・26日(土)

会場:徳島グランヴィリオホテル
(徳島市万代町3丁目5-1)

Discover

New Business Models

地方創生、徳島モデルに学ぶ。

in Tokushima

その里山は、
なぜ生き返ったのか？

主管:一般社団法人 徳島ニュービジネス協議会 (TNBC)
主催:公益社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会 (JNB)、
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

開催概要

名称 第12回JNB新事業創出全国フォーラムin徳島

開催目的

独立行政法人中小企業基盤整備機構と公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会は、新事業・起業の振興に貢献するという共通理念に基づいて活動を続けており、毎年地域の特徴を活かしたフォーラムを各地で開催しているが、本年度は一般社団法人徳島ニュービジネス協議会が主管して、新市場・新事業創出に向けた事業展開について啓発することを目的に、フォーラムを開催した。

テーマ 地方創生、徳島モデルに学ぶ。～その里山は、なぜ生き返ったのか？～

開催日時

2016年11月25日（金）・26日（土）

開催場所

徳島グランヴィリオホテル 徳島県徳島市万代町3-5-1 TEL.088-624-1111

主催

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会（JNB） 独立行政法人中小企業基盤整備機構

主管

一般社団法人徳島ニュービジネス協議会（TNBC）

対象者

中小企業経営者、新事業責任者、起業家予備軍、学生、支援機関関係者、全国のニュービジネス協議会会員

来場者

650人

参加費

10,000円

開催結果

本フォーラムへの参加告知をホームページ、チラシなどで実施し、地元はもとより全国のNBC事務局を通じて会員および経営者、起業予定者等に幅広く参加を呼びかけた。その結果、全国から約650人の参加があり、新事業創出の必要性、重要性を再認識していただく結果となった。

特に、インターネットを活用した首都圏等の企業によるサテライトオフィス設置、地方の強みを活かした食のニュービジネスの展開など、政府が推進する「地方創生」をテーマに、徳島での成功事例を紹介。地方での新しい取り組みや可能性を議論し、均整のとれたワークライフバランスを実現する近未来の社会の在り方を提示した。

参加した経営者や起業予備軍に向け、改めてよりよい社会の実現に向けて新事業の果たす役割について見識を深めていただいた。

開催プログラム

11/25_金

12:00-12:25	開会式
12:30-13:20	第11回ニッポン新事業創出大賞表彰式
	休憩
13:30-14:00	トークショー「TNBC20周年の歩み」
	休憩
14:05-15:15	パネルディスカッションI テーマ:2020年デジタル・コミュニケーション革命で ワークスタイルはどこまで変わるのか?
	休憩
15:35-16:40	パネルディスカッションII テーマ:徳島発、食のニュービジネスNo.1の秘訣
	休憩
17:10-19:00	交流会



開会式 12:00 ~ 12:25

開会宣言



徳島ニュービジネス協議会理事
大会実行委員長 島 隆寛

主催者挨拶



中小企業基盤整備機構
理事長 高田坦史

この度、一般社団法人徳島ニュービジネス協議会が設立20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。
徳島県は、LED関連産業など独自の技術を活かして国内外でトップシェアを有する企業や、上勝町や神山町のように自力で地域活性化に成功された自治体など、日本でも有数の先進的なビジネスや取組みが生まれています。
全国的にも注目度が高いこの地域において、地域経済に多

大な貢献をされている貴協議会役員及び会員の皆様のご尽力に深く敬意を表する次第です。

日本経済の持続的な成長を実現するためには起業家の輩出や創業支援の重要性は高まっています。中小機構といったしましても、JVAをはじめ創業や新事業展開に関わる支援の拡充に努めており、今後も貴協議会との連携を一層深化させ、多面的な支援によってニュービジネスの振興及び地域創生に尽力してまいります。
終わりに、貴協議会及び会員の皆様のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



日本ニュービジネス協議会連合会
会長 池田 弘

第12回JNB新事業創出全国フォーラムin徳島にご参加いただき、心より御礼申し上げます。
日本は今、明治維新、戦後復興期に続く、第三の岐路にあります。わが国が困難を乗り越え、さらなる発展を遂げるためには、イノベーションを起こし、ニュービジネスを立ち上げていく必要があります。
全国各地域の「ニュービジネス協議会」は業種や業態

を越えてニュービジネスに関する研究や情報交換を行うと共に、「イノベーションの促進」や「新たな事業の創出」、「ベンチャーの育成」に取り組んできました。私たちニュービジネス協議会は政府の政策の柱である「地方創生」の原動力となることが期待され、脚光を浴びています。

このフォーラムでは徳島における地方創生モデルを学ぶ様々なプログラムが行われます。活発な議論や情報発信が行われ、ニュービジネスを起こす一つのきっかけとなり、それぞれの地域、そして全国が発展することを祈念しています。



徳島ニュービジネス協議会
会長 三木康弘

本日は、「第12回JNB新事業創出全国フォーラムin徳島」に、全国各地よりお集まり頂き、誠にありがとうございます。
ニュービジネスを志す仲間のご来県を心より歓迎申し上げます。
今年が徳島ニュービジネス協議会設立20周年という節目の年に、全国フォーラムを開催する事となりました。徳

島県は20年前に既に人口減少が始まり、危機感を覚える中で取り組んで参りました軌跡と、山奥やど田舎の町でもこんなに元気に頑張っている姿を、ご紹介させて頂きたいと思っております。

徳島は世界に誇る阿波踊りというどこにも負けないパッションを秘める地域であり、四国霊場88ヶ所巡りのスタートの地としてお接待の文化に溢れる街です。皆様との交流により新たなニュービジネスの芽が生まれ育つ事を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶



四国経済産業局
局長 長濱裕二様

第11回ニッポン新事業創出大賞表彰制度「表彰式」 12:30 ~ 13:20

●プレゼンター

- ◆経済産業省 四国経済産業局 局長 長濱裕二様
- ◆独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 高田坦史様
- ◆公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 会長 池田 弘様

●審査委員

- ◆審査委員長
公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会副会長・早稲田大学名誉教授 松田修一様
- ◆審査委員
株式会社吉田藤兵衛アンドカンパニー 代表取締役社長 吉田總一郎様
税理士法人細川総合パートナーズ 代表社員 細川正直様
東京大学教授、産学協創推進本部イノベーション推進部長 各務茂夫様 欠席
ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長 今野由梨様 欠席
摂南大学教授 野長瀬裕二様 欠席

●支援部門

特別賞

- ◆岡崎ビジネスサポートセンター Oka - Biz様
- 最優秀賞・経済産業大臣賞並びに公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞
- ◆東北大学大学院 経済学研究科 教授 大滝清一様



大滝清一様



●アントレプレナー部門

特別賞

- ◆株式会社環境浄化研究所 代表取締役社長 須郷高信 様
- ◆株式会社広島クライオプリザベーションサービス 代表取締役社長 島田昌之 様
- ◆株式会社タカハタ 代表取締役社長 高畑洋輔 様
- ◆株式会社パン・アキモト 代表取締役 秋元義彦 様

優秀賞

- ◆株式会社ベルニクス 代表取締役社長 鈴木正太郎 様
- ◆株式会社イノテック 代表取締役 伊藤賢治 様
- ◆株式会社ガイアパワー 代表取締役社長 藤崎耕治 様

地方創生賞

- ◆ブリリアントアソシエイツ株式会社 代表取締役 福嶋登美子 様



福嶋登美子 様

最優秀賞・独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長賞並びに公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞

- ◆株式会社ミルテル 代表取締役社長 田原栄治 様



田原栄治 様

最優秀賞・中小企業庁長官賞並びに公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞

- ◆株式会社アイル 代表取締役 早田圭介 様

最優秀賞・経済産業大臣賞並びに公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長賞

- ◆ブリリアントアソシエイツ株式会社 代表取締役 福嶋登美子 様

審査委員長による講評

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会副会長・早稲田大学名誉教授 松田修一 様



松田修一 様

トークショー 13:30~14:00

「TNBC20周年の歩み」

飯泉嘉門氏（徳島県知事）× 三木康弘（徳島ニュービジネス協議会会長）



飯泉嘉門氏

1984年3月東京大学法学部卒業。同年4月自治省入省。山梨県総務部財政課長、埼玉県企画財政部財政課長、郵政省通信政策局地域情報化プロジェクト推進室長、自治省税務局税務企画官、徳島県商工労働部長、徳島県県民環境部長を歴任し、2003年徳島県知事に就任（現在4期目）。全国知事会地方創生対策本部 副本部長、全国知事会総務常任委員会 副委員長、全国知事会情報化推進プロジェクトチーム リーダー、全国知事会総合戦略・政権評価特別委員会 委員長、関西広域連合 広域医療担当委員、自然エネルギー協議会 会長、地方公共団体情報システム機構代表者会議 議長、スマートプラチナ社会推進会議 構成員などを兼任。



三木康弘

1987年3月慶應義塾大学法学部政治学科卒。同年4月（株）第一勧業銀行（現みずほ銀行）に入行。1992年10月阿波製紙（株）入社、同年12月に代表取締役社長に就任、現在に至る。2002年6月（社）徳島ニュービジネス協議会 会長。2007年6月四国経済連合会 常任理事。2009年6月四国生産性本部 副会長（徳島県支部長）。2011年6月四国ニュービジネス協議会連合会 会長。2012年4月公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 副会長。



パネルディスカッションⅠ 14:05~15:15

2020年 デジタル・コミュニケーション革命で
ワークスタイルはどこまで変わるのか？



●モデレータ 星野晃一郎氏 (株式会社ダンクソフト代表取締役)

1986年株式会社デュアルシステム(現ダンクソフト)代表取締役就任。2000年社団法人東京ニュービジネス協議会理事就任。2006年社団法人日本ニュービジネス協議会連合会 代議員IT担当。2011年一般社団法人人工コペーパーレス協議会 理事長。2012年徳島県 集落再生委員(今年度より集落再生アドバイザー)。2015年総務省 地域情報化アドバイザー。その他、日本バエリア協会理事、中央エフエム外部役員など様々な肩書を持つ。2016年徳島県阿南市で新しい働き方のモデルづくりを進行中。

大南信也氏

●パネリスト (特定非営利活動法人グリーンバレー理事長)



1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学院修了。90年代の初頭より神山町国際交流協会を通じて「住民主導のまちづくり」を展開。98年米国生まれの道路美化プログラム「アドプト・ア・ハイウェイ」を全国に先駆けて実施するとともに、「神山アーティスト・イン・レジデンス」などのアート事業を相次いで始動。07年より神山町移住交流支援センター受託運営を開始し、11年度神山町史上初となる社会動態人口増を達成。10年10月以降ITベンチャー企業等10社のサテライトオフィスを誘致。過疎化の現状を受け入れ人口構成の健全化や職種の多様化によって過疎問題の解決を目指す「創造的過疎」を持論に各種まちづくり事業を展開中。「世界に開かれたまち自治大臣表彰」など数多くの表彰を受ける。

樋口泰行氏

●パネリスト (日本マイクロソフト株式会社代表取締役会長)



松下電器産業(現パナソニック)でエンジニアを経て、1989年ハーバードビジネススクールに入学。卒業後ポストン・コンサルティング・グループ、アップルコンピューターを経て、97年にコンパクトコンピューター入社。ヒューレット・パッカード(HP)との統合後、03年に日本HPの代表取締役社長に就任。05年にダイエー代表取締役社長に就任。その後、08年に日本マイクロソフト代表取締役社長 兼 米国本社コーポレートバイスプレジデントに就任。7年間社長を務め、15年に同社の会長に就任。現在に至る。

●パネリスト 隅田徹氏

(株式会社えんがわ代表取締役社長)



アーキビスト(映像保存技術者)、1962年大阪府枚方市生まれ、慶應義塾大学経済学部卒。海外ニュース配信会社での勤務を経て2001年に映像のデジタル・アーカイブを手がけるプラットフォームを創業。2013年、徳島県神山町に移住し同社のサテライトオフィス(えんがわオフィス)を開発。同時に4K映像を取り扱う新会社「えんがわ」を神山に設立。2015年、仕事をしながら滞在できる交流型宿泊施設「WEEK神山」を開業。株式会社プラットフォームズ 取締役会長、株式会社えんがわ 代表取締役社長、株式会社神山神領(WEEK神山)代表取締役社長。

●パネリスト 吉田基晴氏

(サイファー・テック株式会社・株式会社あわえ代表取締役)



1971年徳島県海部郡美波町(旧日和佐町)生まれ。神戸市外国語大学卒業。ジャストシステム、ベンチャー企業勤務を経て2003年にサイファー・テック株式会社を設立。2012年徳島県美波町にサテライトオフィス「美波Lab」を開発、2013年に本社を「美波Lab」に移転。会社で稲作や養蜂に挑戦する「半X半IT(Xは個人の趣味)」など仕事と暮らしを両立するワークスタイルの実現を目指す。また地方にオフィスを開設したことで、地域の課題が浮き彫りになり、それをビジネスの力で解決したいと思い、2013年6月に株式会社あわえを設立。現在はサイファー・テック、あわえの2つの会社の代表取締役を務めている。



会場の様子

パネルディスカッションⅡ 15:35~16:40

徳島発、食のニュービジネス No.1の秘訣



●モデレータ 田村耕一氏 (公益財団法人 徳島経済研究所専務理事)

1973年神戸大学経済学部卒。同年、日本銀行に入行。1997年7月徳島事務所長に就任。2003年3月に日本銀行を退職し、同年4月財団法人徳島経済研究所顧問に就任。同年6月株式会社阿波銀行社外監査役(非常勤)に就任。同年7月財団法人徳島経済研究所専務理事に就任。2010年4月公益財団法人徳島経済研究所に改組。主な著書に「ぼくらの金融教科書」「わたらの経済生活読本」(西田書店)がある。地方シンクタンク協議会 副代表幹事、とくしまマルシェ実行支援委員会 委員長、LEDバレイ構想推進協議会地域ブランド化部会 部会長、四国大学特任教授など兼任多数。

●パネリスト 横石知二氏

(株式会社いどり代表取締役社長)



1979年3月徳島県農業大学校卒業後、上勝町農業協同組合へ営農指導員として入社。1981年以降16年連続して農産物の売り上げを伸ばす。1986年「彩」を開発し、1991年特産品開発室長に就任。山の資源を生かした商品開発で全国的な注目を浴びる。NHK視点論点、ラジオ深夜便、テレビ東京カンブリア宮殿、ガイアの夜明け等、テレビ、雑誌、新聞等の出演多数。2007年にはニュースウィーク日本版「世界を変える社会起業家100人」に選出される。2002年アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本大会特別賞、2002年地域活性化貢献特別賞、2005年フィナンソロピー大賞特別賞をはじめ数多くの賞を受賞。

●パネリスト 丸本昌男氏 (株式会社丸本代表取締役会長)



1937年徳島県海陽町(旧海南町)生まれ。1964年に丸本食肉を創業し、1971年丸本食鳥株式会社(現在の株式会社丸本)を設立、代表取締役に就任。地鶏のなかで生産量全国一位の「阿波尾鶏」のブランド化に成功。鶏の肥育管理から処理加工、加熱に至る一貫処理システムに加え、製造・卸売・小売の事業展開を西日本から関東に向け拡大に取り組んでいる。

●パネリスト 浜内千波氏 (料理研究家)



徳島県生まれ。大学卒業後、OLを経て岡松料理研究所へ入所。1980年ファミリークッキングスクールを開校。「料理は、もっともっと夢のある楽しいもの」をモットーに、雑誌や書籍をはじめ、テレビ、ラジオ、講演会、各種の料理イベントで活躍中。自身の経験をもとに考案したダイエットメニュー、野菜料理は特に定評があり、主宰の料理教室では「家族の健康」「笑顔のある会話」に役立つ家庭料理を教えている。



会場の様子

交流会 17:10~19:00



池田 弘JNB会長の挨拶で開宴



壇上では関係者により鏡割りが行なわれました



次年度のフォーラムは山梨県ニュービジネス協議会が主管
多くのメンバーが来徳し元気良PR



三木康弘TNBC会長による中締め





会場の様子

マルシェ 別室ではマルシェ(市場)を開催し特産品の即売を実施。多くのお客様からご好評をいただきました。



看板・受付



JNB 新事業創出全国フォーラム in 徳島

TNBC 20th. Anniversary

スポンサー企業

 アイリスオーヤマ株式会社	 株式会社NSGホールディングス	 株式会社ミス・パリ
 株式会社阿波銀行	 阿波製紙株式会社	 株式会社シケン
 株式会社ときわ	 富田製薬株式会社	

 小野株式会社	 株式会社ダイキアキス	 株式会社アイデル	 阿波銀リース株式会社
 大久保産業株式会社	 四国化工機株式会社	 徳島合同証券株式会社	 日本フネン株式会社
 ファミールハウジング有限公司	 藤崎グループ	 藤崎電機株式会社	 株式会社ガイアパワー

 石原金属株式会社	 市岡製菓株式会社	 株式会社河野メリクロン	 コード株式会社	 株式会社四国銀行徳島本部
 四国放送株式会社	 株式会社STNet	 株式会社徳島銀行	 徳島グランヴィリオホテル	 有限会社中井恒次商店
 日新酒類株式会社	 株式会社ニューメディア徳島	 野村証券株式会社徳島支店	 税理士法人ひまわり会計事務所	 株式会社松下印刷
 松下印刷株式会社	 丸善商事株式会社	 丸久株式会社	 株式会社みずほ銀行徳島支店	 森正株式会社